

50周年記念山行『上高地～槍ヶ岳～北穂高岳～上高地』

ややガンバル組 山行報告

【日 程】2016年7月16日(土)～7月18日(月) 7月15日(金)夜発

【メンバー】ややガンバル組 田中(SL)、大森、山本、細谷(L)、富樫(富)、狩野、時田、
吉瀬(会計)、薄井、今泉、江橋(記録)

ゆったり組 鈴木(憲 CL)、鈴木(愛)、山内

【当初計画】ややガンバル組

7/15(金) 千葉 21:30 発⇒中央道⇒松本⇒沢渡 (仮眠)

7/16(土) 沢渡⇒上高地⇒槍沢ロッジ⇒槍ヶ岳肩 槍ヶ岳山荘「泊」

7/17(日) 槍ヶ岳登頂⇒南岳⇒大キレット⇒北穂高岳 北穂高小屋「泊」

7/18(月) 北穂高岳⇒涸沢⇒上高地⇒沢渡⇒松本⇒中央道⇒帰葉

【行動実績】ややガンバル組

当初、かなりガンバル組(テント泊)、ややガンバル組(小屋泊)、ゆったり組(前日朝発小屋泊)の3組で計画されていたが、急遽、かなりガンバル組のT植SLの負傷リタイヤにより私を含む5名はややガンバル組に吸収合併となり11名体制となった。

7/15(金) K野車(四街道発)、K瀬車(市原発)の2台は、千葉駅で電車のメンバーを拾い21:50ごろ出発。一路中央道松本IC経由沢渡(さわんど足湯公園駐車場)に深夜2時過ぎ到着。即刻テントを準備し軽く一杯の暇もなく就寝。ここから先は乗用車乗り入れ禁止の為、4:30にT中SLが予約してくれたタクシーの迎えが来る。

7/16(土) 曇りのち晴れ 〈コースタイム〉上高地 5:30 ⇒ 明神 6:30 ⇒ 徳沢ロッジ 7:40 ⇒ 横尾 8:50 ⇒ 一ノ俣 10:00 ⇒ 槍沢ロッジ 10:45 ⇒ 槍ヶ岳山荘 16:30～17:20 ⇒ 槍ヶ岳山頂 17:00 前後 ⇒ 槍ヶ岳山荘 17:50(泊)

4:00前起床。睡眠時間は1.5時間ほどだ。トイレ前の足湯には人集りができている。ここで寝ている人もいる。

我々は、即テントを片付け、朝食を詰め込む。4:30タクシーに乗車、釜トンネルは4:50頃開門された。このトンネルは冬季にはタクシー・バスも通行止めで雪中ここから歩くしかないそうだ。

上高地 5:10 到着。天気は曇り、晴れることを願いつつ、いよいよ槍へ向かって登山開始だ！



ところがいきなりトラブル発生!!!
 T 樫さんの靴の先端が剥がれかけているとのこと。
 このままでは危険と T 中 SL が紐とテーピングテープ
 を使い手際よく応急修理を行い出発。このあと何度か
 のバージョンアップを重ねることになるが、無事帰還
 することができた。



ここから明神～徳沢～横尾と段々登山道らしくなって
 行くものの高度はあまり上がっていない。

上高地から槍ヶ岳までの標高差は 1600m ほどあるはずだ。登りはこれからが本番だ。
 横尾山荘前の涸沢に通じる吊橋を横目に北上する。晴れ間が見えてきた。
 槍の穂先は、まだまだ見えない。

槍沢ロッジで昼食休憩。小屋で食べる人、行動食を食べる人、それぞれが食事し長めの休憩。
 天気はかなりいい感じだ。

11:30 出発、ロッジ前には槍の穂先が見える望遠鏡が置かれていた。槍の頂上にたくさんの人
 がいるのが見える。モチベーションがあがる。



槍が見える (槍沢ロッジにて) ・ ・ ・ 槍沢上部にて槍がまじかで歓声が湧く。あと少しがんばれ。

しばらくするときつめの登りがはじまった。T中SLの説明によると、きつめの登りでも尾根では3大急登が有るが、沢筋では急登と言われるところは無いらしい。

槍がはっきり見え少し元気が出たものの10時間以上歩き続けている為、かなりへばっている人もいる。私も何とか歩を進める。

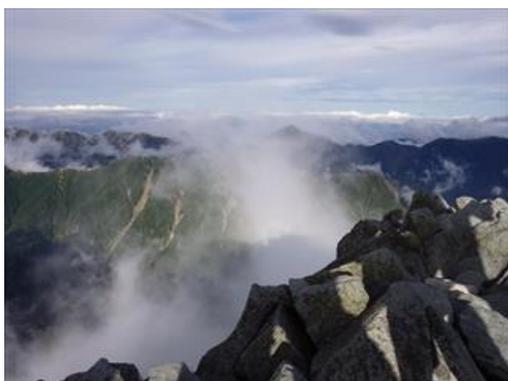
槍ヶ岳を開山した播隆上人が修行したという播隆窟の前を通る。頂上はもう直だ。しかし、なかなか距離が縮まらない。山小屋に向かい誰かが「S木さ〜ん」と叫んでみたが返事は聞こえない。まだ遠すぎるらしい。明日の天気が怪しい為、槍の肩に到着した者から順に頂上に向かうこととなり、何組かに別れ、槍の肩から頂上を目指す。T中SLからのアドバイス。きつい登りが続くので10歩進んで2呼吸(休み)とゆっくりでも良いので前進すること。長く止まっていたら目的地に到達できない！確かに！！300mの表示、200m、100m山上から「I泉さ〜ん、ちばや〜ま」の声。先着のゆったり組の人たちの声が聞こえる。

ついに槍の肩到着。ゆったり組の3人が迎えてくれる。待っていてくれる人がいるのは嬉しいものですね。3人はずーと待っていてくれたらしく感謝です。

槍ヶ岳山荘前に荷物を置き、カメラだけを持って槍の穂先に向かう。先行したH谷さんとY本さんは、かなり前にいる。間が悪いと人気アトラクション並に数時間待ちになるらしいが、時間的に遅い為か、空模様の為か渋滞知らず。鎖場と足が奥まで入らない直角梯子に少しビビリながら頂上へ向かう。

頂上は、我々の貸切だ。写真も撮り放題だ。雲が移動すると富士山はじめアルプスの山々が360°見渡せる。最高の頂上だ。更に、ブロッケン現象も発生し我々の登頂を祝ってくれている。ややガンバル組の皆が揃ったところで横断幕ひろげて記念撮影。

皆思う存分山頂を楽しんだところで下山。下りは更に怖い。



【感動のブロッケン現象を見る】

※湧き上がる雲がスクリーンとなり太陽の光が背後からそそぐと映写機となり自分の影を前面のスクリーンに映し出す現象である。
(自分が動くと同じように動くのが見られる。)



【目標の穂高連峰を望む】



【念願の槍ヶ岳山頂にて記念撮影】

この日は皆かなり疲れたらしく、食後ほとんどの人はお酒も飲まず即就寝。K野さんに至っては食事を半分以上残している。大丈夫だろうか?・・・翌朝、本人によると行動食の食べ過ぎでお腹が一杯だったらしい。

夜、かなり強い風の音がする。明日の大キレットは無理か? 就寝前にCLとSL他の何人かが明日の相談をしていた。隊を2つに分けて行ける人を中心にSLが率いて行く案と、隊を分けずに皆が降りる案と2案について相談をしたが、結論は明日の朝に天候の様子を見て最終判断をCLが行うと言うことで決まり就寝とした。

7/17(日) 雨&強風&霧

この日は荒天により大キレットは断念しややガンバル組、ゆったり組ともCLの決断があり全員で下山することになった。残念!

朝食前に談話室にて全員で横断幕記念撮影。朝食をとり6:13下山開始。

〈コースタイム〉 槍ヶ岳山荘 6:13⇒横尾山荘 11:00⇒徳沢ロッジ 12:00⇒上高地 14:00



【談話室で記念写真】



【槍ヶ岳山荘前にて雨具を着込み撮影】

出発時は、かなり強い風と霧が立ち込めていたが、少し下ると風は弱まった。皆無言で足早に下る。登ってくる人は思ったよりたくさんいる。こんな天気だが、折角来たのでということらしい。この雨で槍に登るのも下るのも怖そうだ。

こんな天気でも見事に咲いている花達に和まされながら下る。傘をさして登ってくる人が結構いることにおどろいた。中にはカッパも着けずに傘だけの人もいた。ここは街中か？徳沢ロッジでは皆ソフトクリームで一息。私はお腹が空いてカレーうどんを食べてしまった。相席のロシア系らしい女の子もカレーうどんを食べていたがNo Good とのこと。味の事か？箸での食べにくさの事か？は判らなかつた。

上高地 14:00 到着。昨日の登りは12時間前後かかったが、下りは8時間弱。

タクシーで沢渡へ。駐車場に着くころには晴間も見えてきた。しかし、上は黒い雲が掛かっている。



【帰途の一休み】



【ソフトクリームと山の葡萄酒を味わいサー帰ろう】

地酒屋でおみやげ購入、温泉で入浴の後、食事を済ませ 18:30 ごろ帰途へ。中央道は大月-八王子間でかなりの渋滞、千葉着は 23:30 ごろ。佐倉の自宅着 24:30 ごろ。

残念ながら槍ヶ岳-北穂へ襻を繋ぐことはできませんでしたが、充実した楽しい山行となりました。

(尚) 今回出来なかつた槍ヶ岳～北穂高岳間のリベンジを心に誓いながら山行報告と致します。

～以 上～